

E011	教育心理学 (e)		
英名科目名	Educational Psychology		
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務課教務グループ TEL : 075-644-8157		
担当教員	田爪 宏二 (教育学科) 赤松 大輔 (教育学科)		
開講期間	授業日程 2021年10月3日(日) 2021年10月10日(日) 2021年10月17日(日) 2021年10月24日(日) 【予備日】 2021年10月31日(日) 【予備日】 は、暴風警報発令等により、授業休止となった場合の代替日となります。この日も含め出席できるように、ご予約ください。なお、予備日の授業は、京都教育大学キャンパスで実施します。 授業時間 全日とも1~4講時 1講時 9時00分~10時30分 2講時 10時35分~12時05分 3講時 12時55分~14時25分 4講時 14時30分~16時00分		
開講形態	後期集中	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員			
単位互換生定員	40	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	1) 試験(60%)、2) 小レポート等の提出状況と記述内容(30%)、3) 授業への参加態度・積極性(10%) 授業時間数の4分の3以上の出席がない場合又は終末試験を受験しない場合は、成績評価の対象としません。		
超過時の選考方法	卒業年次に近い学生を優先		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	【自学自習についての情報】 ・テキストを授業前に熟読のうえ、授業に臨むこと。 ・講義内容についての理解や考察を深めるために、自身が過去に体験してきた学校教育と対応させたり、将来教師となった場合を想定しながら学習を進めて欲しい。 【注意】 単位互換生の受講定員は、40名程度を想定しています。(希望者多数の場合は、卒業年次に近い学生を優先します。) 【その他】 テキストは必ず事前に購入し、初回から持参すること。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	【授業の概要】 心理学の視点から、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程に関する代表的な理論や研究成果について、学校教育との関連を中心に論じる。その上で、主体的な学習を支える上で教師に求められる知見と、それを踏まえた教育実践のあり方について考察する。 【授業の到達目標】 1. 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する代表的理論及び教育における発達理解の意義を理解する。 2. 各時期における発達の諸側面(運動、認知、言語、社会性等)の内容や特徴を理解する。 3. 様々な学習の形態や概念及びその過程に関する基礎的な理論を理解する。 4. 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について理解する。		

5. 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える支援について理解する。

【授業の形式】

授業はテキストに沿って講義形式を中心とするが、内容に応じてディスカッションや意見の発表の時間を設ける。授業内容のまとめ、考察の記述(小レポート等)を求め、その内容は適宜授業内でフィードバックする。

講義スケジュール

- 第01回 教育心理学とは(田爪)
- 第02回 発達の基礎理論(田爪)
- 第03回 心身の発達 乳幼児期(田爪)
- 第04回 心身の発達 児童期(田爪)
- 第05回 心身の発達 青年期以降(田爪)
- 第06回 特別な支援と教育心理学(田爪)
- 第07回 学びのメカニズム 学習と知識獲得(田爪)
- 第08回 学びのメカニズム 認知的情報処理と記憶(田爪)
- 第09回 学びのメカニズム 動機づけと学習(田爪)
- 第10回 教育心理学と教育実践 認知発達と学習支援(赤松)
- 第11回 教育心理学と教育実践 学級集団と学習支援(赤松)
- 第12回 教育心理学と教育実践 個性・個人差と学習支援(赤松)
- 第13回 教育心理学と教育実践 教育評価(赤松)
- 第14回 子どもの情緒・適応の理解と心理的支援(赤松)
- 第15回 学校教育をとりまく諸問題と教育心理学(赤松)
- 第16回 試験

教科書 田爪宏二編 教職エクササイズ 教育心理学
ミネルヴァ書房
テキストは必ず事前に購入し、初回から持参すること。

参考書
・大久保智生・牧郁子編
実践をふりかえるための教育心理学
ナカニシヤ出版
・多鹿秀継編
教育心理学(第2版): より充実した学びのために